

小児外科

1 特徴

現在、小児外科では医師3名の診療体制をとっており、週4回の外来診療日を設けています。そして、小児科との連携により、365日24時間の緊急患者受け入れ体制を維持しています。また、NICU病床数増加とともに新生児症例数も徐々に増加しています。

当科では小児内視鏡外科手術を積極的に導入し、予定手術のみならず休日や夜間の緊急手術に際しても「こどもにやさしい手術」内視鏡外科手術を行っています。キズが小さく術後の痛みを軽減できることにより、術後在院日数の短縮にも貢献できています。小児外科領域では身体の小さいお子様に対し、安全な内視鏡外科手術を行うには特殊な技術が要求されます。小児外科領域においても日本内視鏡外科の技術認定制度が導入されました。当科では日本内視鏡外科学会技術認定医（小児外科）がすべての小児内視鏡外科手術を施行しています。

さらに、こども自身やご家族の付き添いのご負担を軽減する目的でそけいヘルニア、臍ヘルニア、陰嚢水腫、停留睪丸、体表腫瘤などの疾患に対し日帰り手術を積極的に導入しています。

われわれはこれまでの内視鏡外科手術の経験から「障害をおもちのお子様の外科手術」を積極的に行ってきました。これに関連し、近隣の養護学校における教職員や親御様方への啓蒙活動も続けてまいりました。

2 スタッフ

佐藤正人（さとう まさひと） 部長

資格等：医学博士

日本小児外科学会指導医、専門医

日本外科学会指導医、専門医

日本内視鏡外科学会技術認定医（小児外科）

日本消化器外科学会認定医

日本がん治療認定医機構 暫定教育医

役職：日本小児外科学会評議員、学術・先進医療検討委員

日本内視鏡外科学会評議員

近畿外科学会評議員

日本小児外科学会近畿地方会評議員

International Pediatric Endosurgery Group: Active Member

専門領域：小児外科全般、小児内視鏡外科

研究内容：小児内視鏡外科周術期における生体反応

宮内雄也（みやうち ゆうや）シニアレジデント

服部健吾（はっとり けんご）シニアレジデント

3 診療実績（手術数）2010年

疾患	症例数	腹腔鏡手術数	その他	新生児手術
そけいヘルニア	55	2		
臍ヘルニア	9			
陰嚢水腫	19			
虫垂切除	49	49		
停留精巣	15	4		
中心静脈	12			
腸重積症	11	2		
噴門形成	2	1		
胃瘻	3	1		
幽門狭窄症	6	5		1
腸管重複症	1	1		
メッケル憩室	3	2		
腸回転異常	1			
胃破裂				
臍帯内ヘルニア				
尿膜管遺残				
消化管異物	7			
摘便	2			
包茎	2			
皮膚・皮下腫瘍・リンパ節生検	5			
VPシャント				
耳前瘻・副耳	2			
陰唇癒合				
舌小帯				
癒着剥離	3	1		
気管切開	4			
漏斗胸	1		抜去	
横隔膜ヘルニア	1	1		
喉頭気管分離				
アカラシア				
胆道閉鎖症	2		re-do 1例	
胆道拡張症				
脾臓摘出	3	3	HS x 2 ITP x 1	
胆石	2	2	HS	
OK 4 3 2				

食道閉鎖症	3			3
胸管結紮	1			1
小腸閉鎖・狭窄	1		空腸狭窄	
十二時腸閉鎖・狭窄	1		L a d d 術後狭窄	
その他小腸大腸切除	5		内ヘルニア・捻転・胎便	2
ヒルシュ根治術	2	2		
直腸粘膜生検	1			1
ヒルシュ その他	1			
鎖肛根治術	1	1	高位鎖肛	
人工肛門造設・閉鎖	5		鎖肛 2 ヒルシュ 1	2
肛門（痔瘻・直腸脱）	3			
腹壁癒痕ヘルニア	1			
卵巣卵管疾患	4	3	1 例 gliomatosis imature	1 例
気管支ファイバー	6			
胃カメラ・大腸カメラ・膀胱鏡	11			
水腎症				
神経芽腫	1			1
W i l m s 腫瘍	1		左	
胸腺腫瘍	1		奇形種	
縦隔腫瘍	1		悪性リンパ腫	
肺腫瘍	1		炎症性偽腫瘍	
仙尾部奇形種	1			1
精巣捻転	1			
精索静脈瘤				
耳介形成				
試験開腹・腹腔鏡検査	3	3		1
会陰部裂創				
異所性陰囊				
胸腔ドレナージ	5			2
腹腔ドレナージ	1			1
総手術数 計	282	83		16
非手術入院	40			